

# 横須賀市の人口の動向 (追加資料)

# (参考) 自市内就業比率

- ・住んでいる自治体内で働いている人の割合（自市内就業比率）は、**県内で横須賀が最多**  
5年前と大きな変化はない

従業地と居住先の状況<従業地：県内市等>

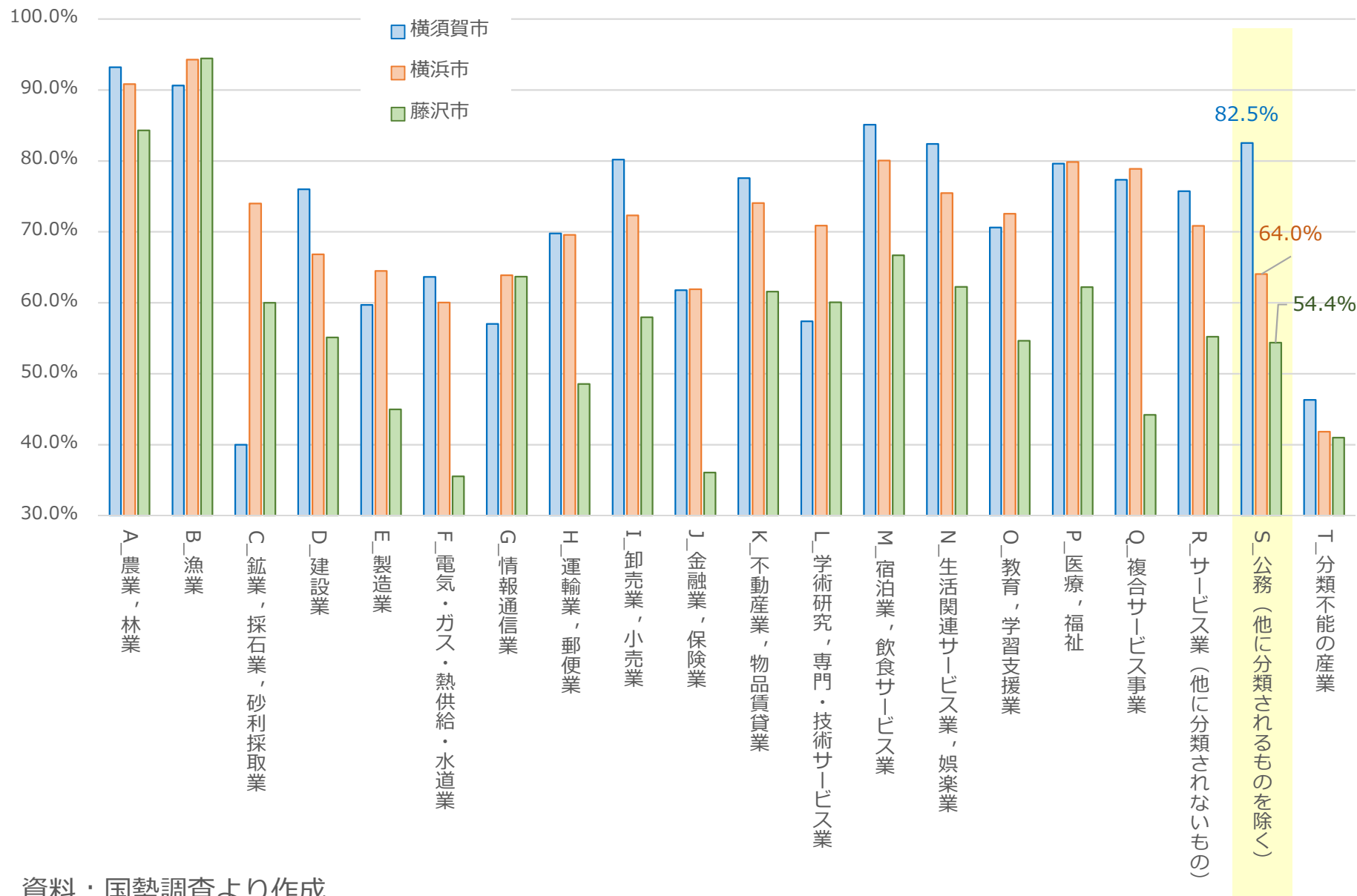
従業地	総数			男性			女性		
	市内就業者 (人)	うち自市内で常住する者		市内就業者 (人)	うち自市内で常住する者		市内就業者 (人)	うち自市内で常住する者	
		人	割合(%)		人	割合(%)		人	割合(%)
<b>横須賀市</b>	<b>127,583</b>	<b>95,731</b>	<b>75.0%</b>	<b>72,676</b>	<b>50,639</b>	<b>69.7%</b>	<b>54,907</b>	<b>45,092</b>	<b>82.1%</b>
横浜市	1,226,618	866,065	70.6%	648,540	409,856	63.2%	578,078	456,209	78.9%
川崎市	448,294	234,363	52.3%	254,815	109,120	42.8%	193,479	125,243	64.7%
相模原市	206,828	140,799	68.1%	105,073	64,224	61.1%	101,755	76,575	75.3%
三浦市	10,763	6,589	61.2%	5,086	2,846	56.0%	5,677	3,743	65.9%
鎌倉市	56,269	21,313	37.9%	27,612	8,091	29.3%	28,657	13,222	46.1%
逗子市	10,801	4,832	44.7%	4,545	1,555	34.2%	6,256	3,277	52.4%
藤沢市	141,609	75,307	53.2%	74,817	33,474	44.7%	66,792	41,833	62.6%
平塚市	91,698	53,063	57.9%	50,467	25,073	49.7%	41,231	27,990	67.9%
小田原市	72,318	43,934	60.8%	36,813	19,794	53.8%	35,505	24,140	68.0%
茅ヶ崎市	51,010	31,932	62.6%	23,794	12,291	51.7%	27,216	19,641	72.2%
秦野市	46,939	30,975	66.0%	25,183	14,591	57.9%	21,756	16,384	75.3%
厚木市	125,771	54,217	43.1%	78,938	27,909	35.4%	46,833	26,308	56.2%
大和市	62,517	28,309	45.3%	31,289	11,233	35.9%	31,228	17,076	54.7%
伊勢原市	36,116	16,006	44.3%	19,800	7,340	37.1%	16,316	8,666	53.1%
海老名市	49,376	16,821	34.1%	26,951	6,766	25.1%	22,425	10,055	44.8%
座間市	36,026	13,884	38.5%	19,289	5,610	29.1%	16,737	8,274	49.4%
南足柄市	13,045	5,982	45.9%	7,189	2,912	40.5%	5,856	3,070	52.4%
綾瀬市	29,408	11,079	37.7%	18,339	5,363	29.2%	11,069	5,716	51.6%
葉山町	5,910	2,848	48.2%	2,527	967	38.3%	3,383	1,881	55.6%

# 産業大分類別の自市内就業比率

資料6

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9



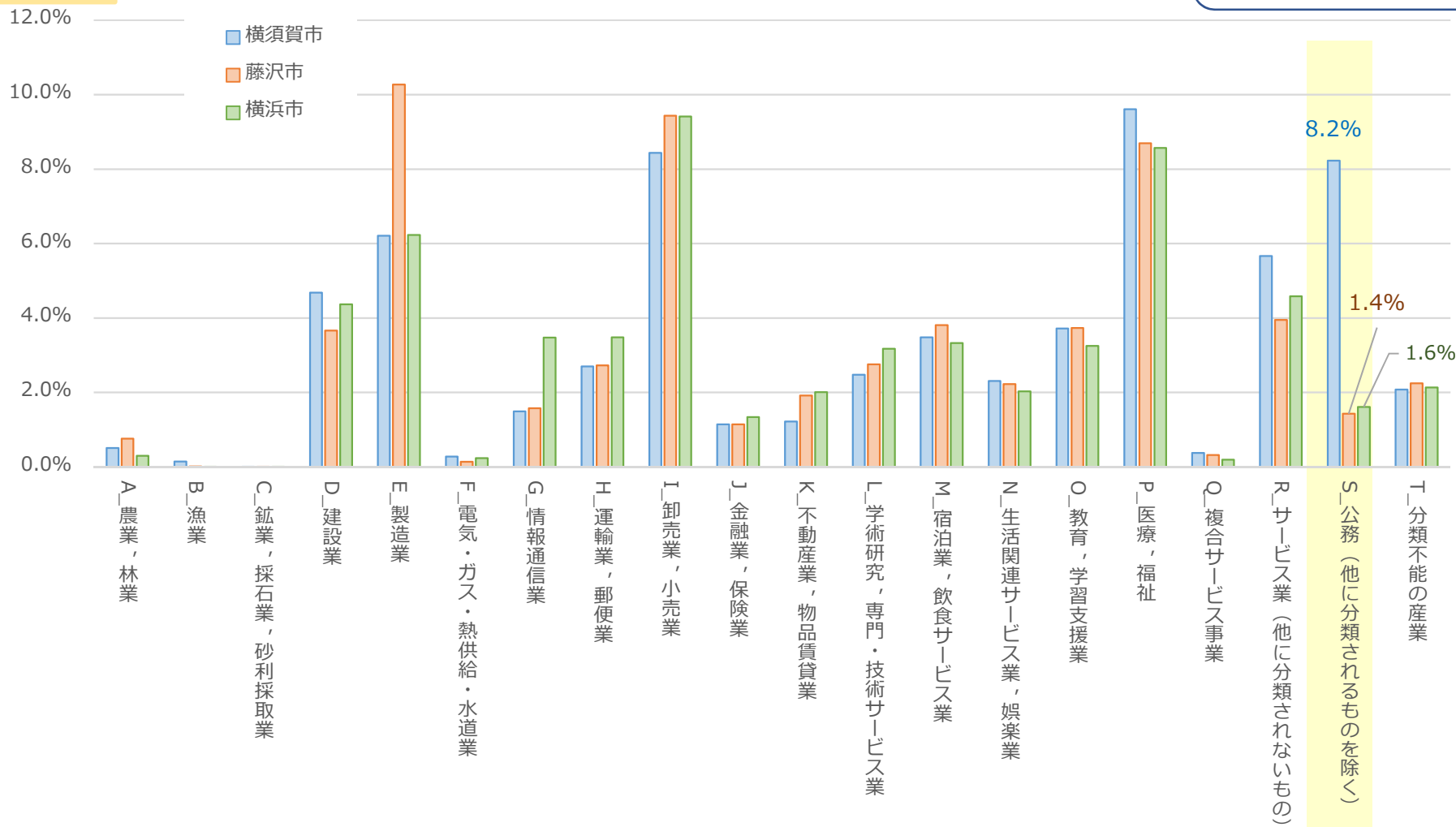
資料：国勢調査より作成

# 産業大分類別の就業者比率 (就業者数/生産年齢人口)

資料 6

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9



	就業者数 (従業地)	生産年齢人口	就業者数/生産年齢人口
横須賀市	144,115 人	222,437 人	64.8%
横浜市	1,427,747 人	2,388,942 人	59.8%
藤沢市	165,254 人	271,712 人	60.8%

資料：国勢調査より作成

# 年代別転出率・転入率の他都市比較

資料 6

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

## 転出率他都市比較

(自衛隊営内居住者の影響を除いた数値で算出)

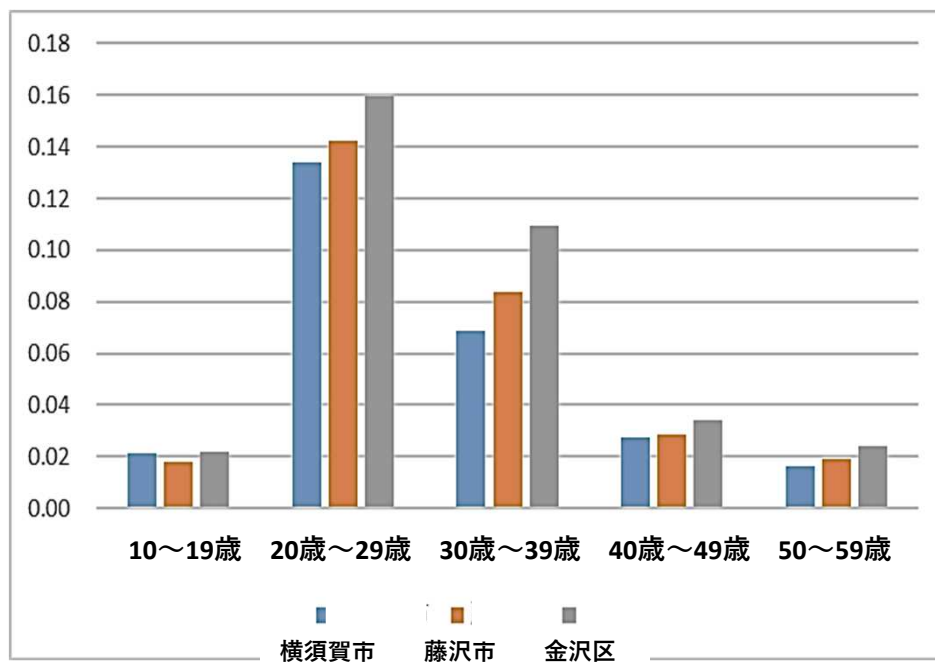
- ・年代別転出率は、近隣他都市と比較して低い。  
特に30代のその傾向が強く見える。

## 転入率他都市比較

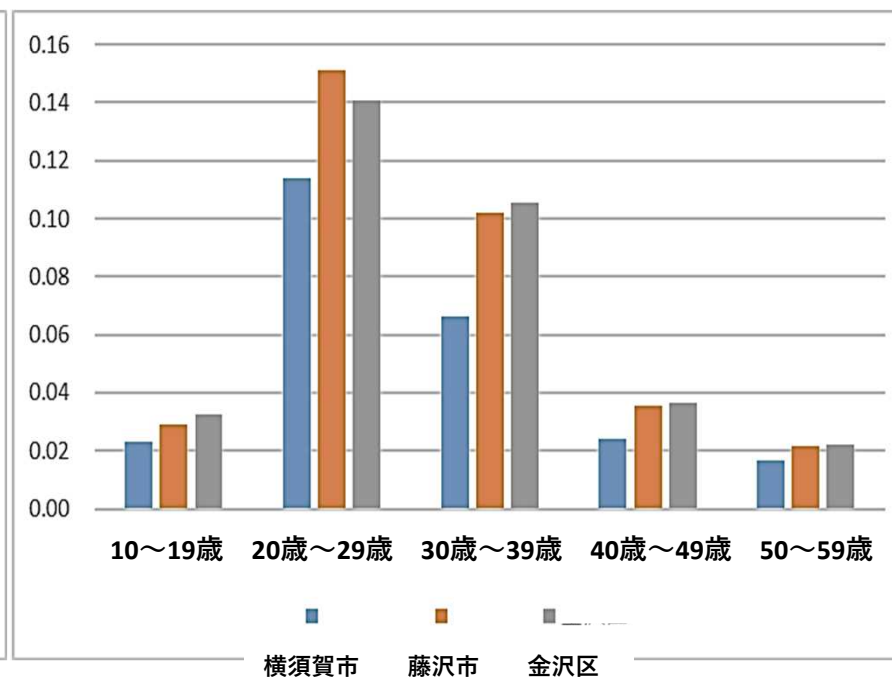
(自衛隊営内居住者の影響を除いた数値で算出)

- ・年代別転入率も、近隣他都市と比べて低い。  
転出と同様に特に30代にその傾向が強く見える。

年代別転出率（他都市との比較）



年代別転入率（他都市との比較）

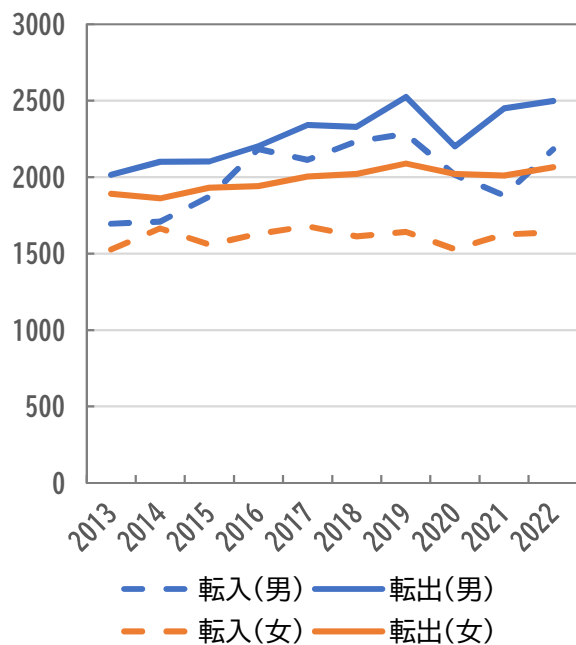


資料：神奈川県人口統計調査（2019）

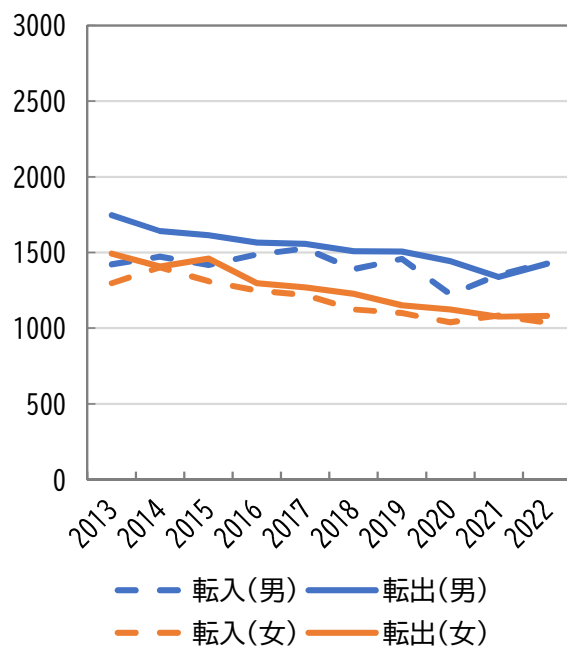
# 年代別転出数（年別、男女別） ※自衛隊の影響を除く

資料6  
 横須賀市政策推進・行政評価委員会  
 令和5年(2023年) 8/1, 8/9

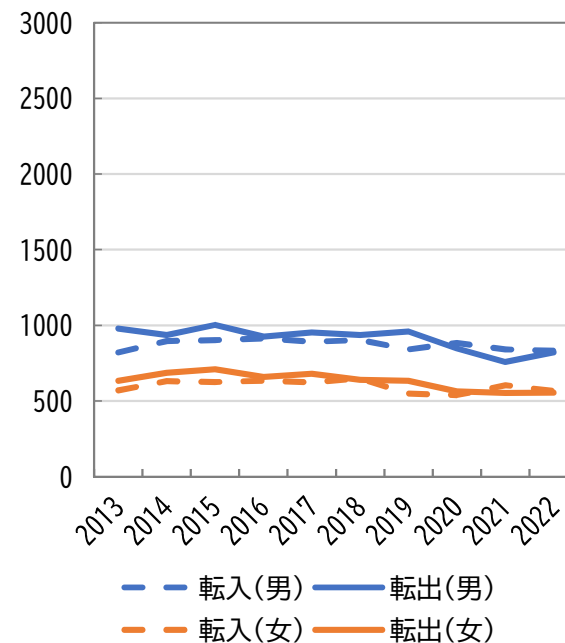
## 20代



## 30代



## 40代



# 転出意向の理由 (横須賀市民アンケート(2020))

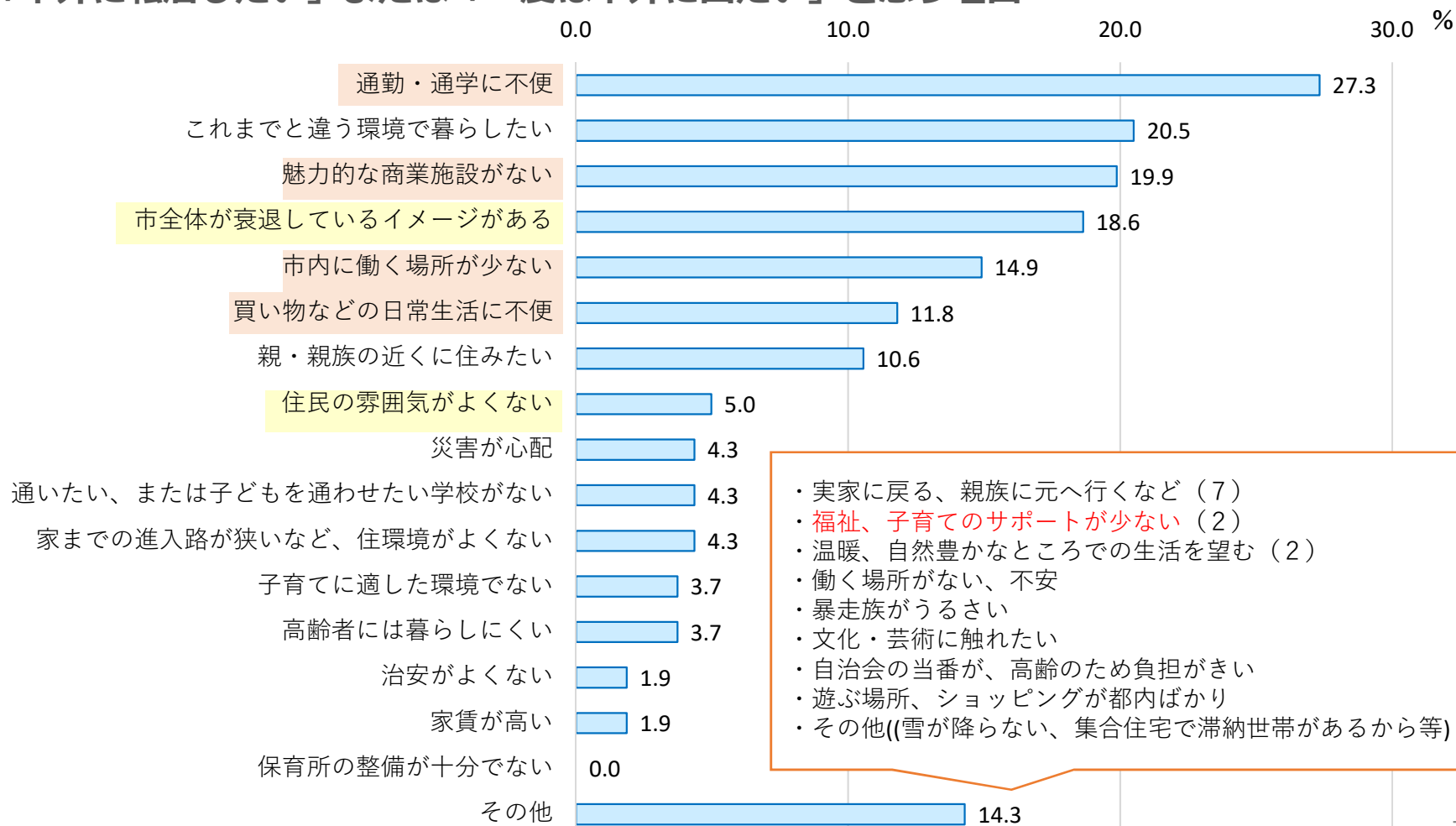
資料 6

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 交通や商業施設、労働環境などの実際の生活への不満が多い。  
「衰退イメージ」「住民の雰囲気がよくない」などの感覚的な理由も目立つ

## 「市外に転居したい」または「一度は市外に出たい」と思う理由



資料：横須賀市民アンケート (2020)

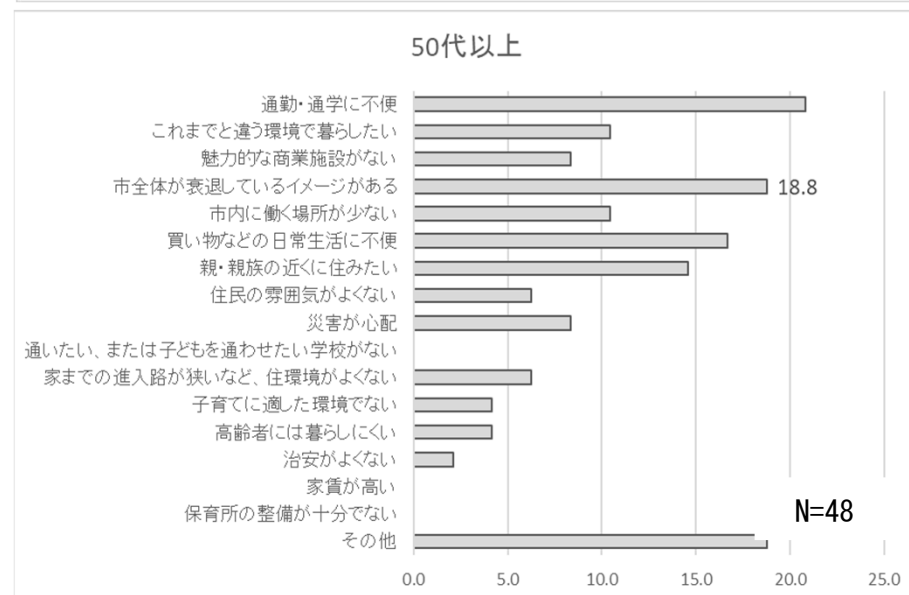
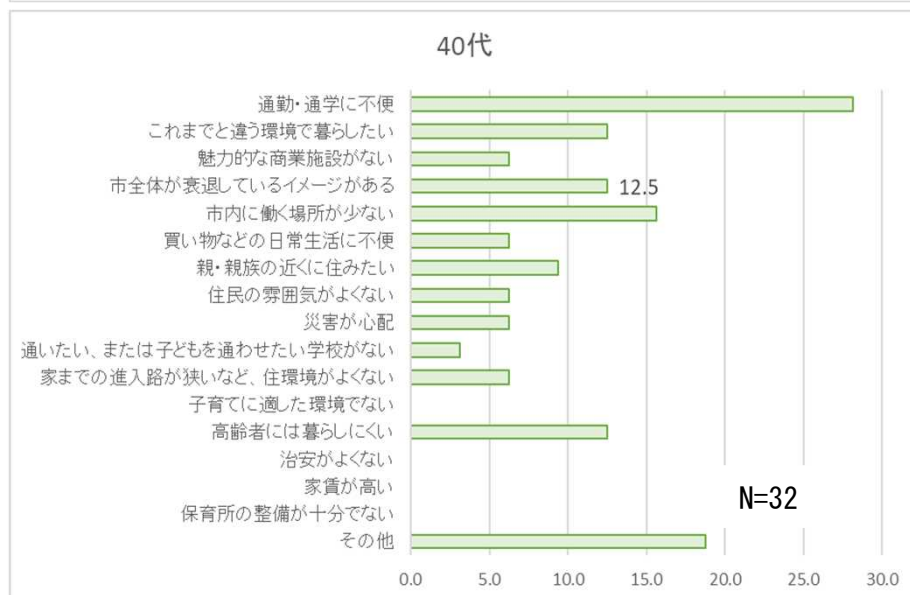
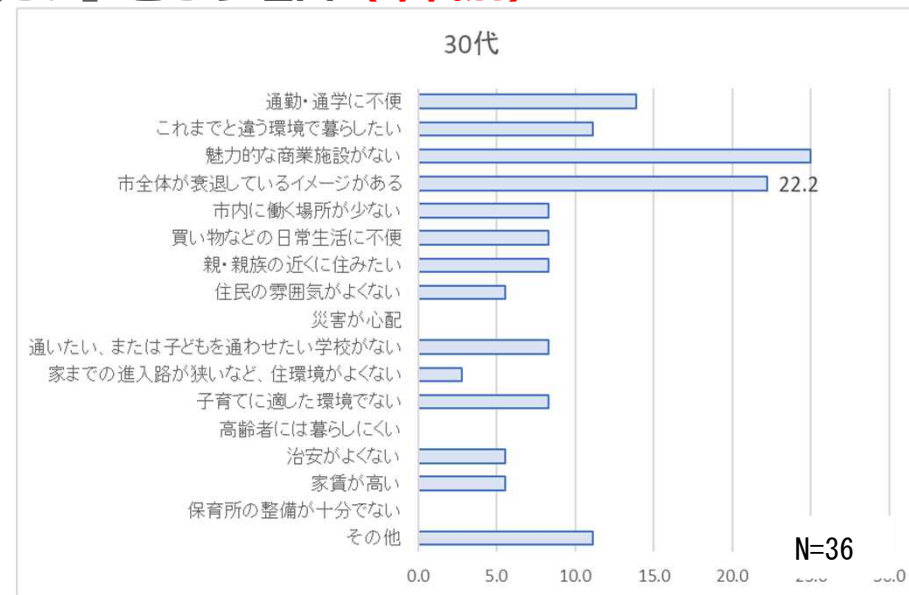
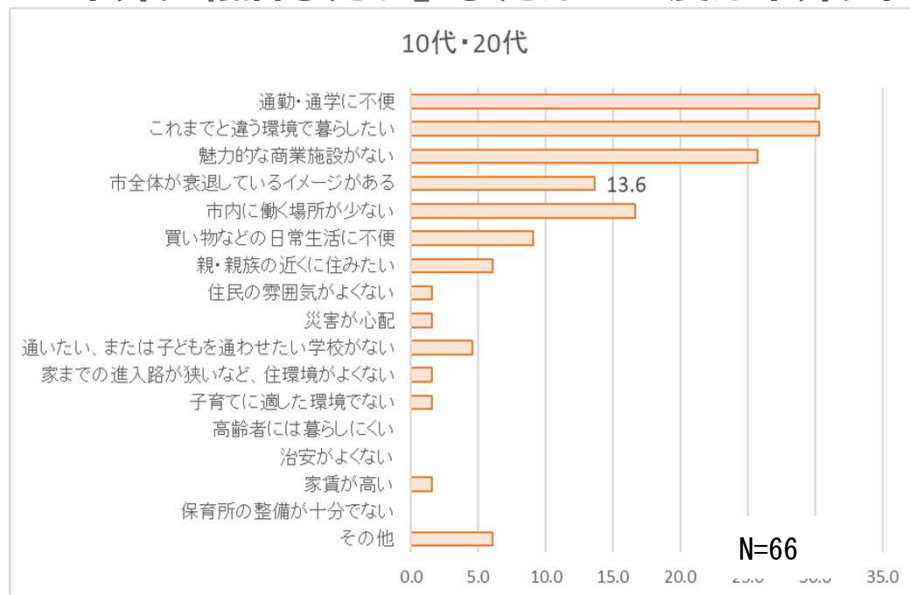
# 転出意向の理由 (横須賀市民アンケート(2020))

資料 6

横須賀市政推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

## 「市外に転居したい」または「一度は市外に出たい」と思う理由 (年代別)





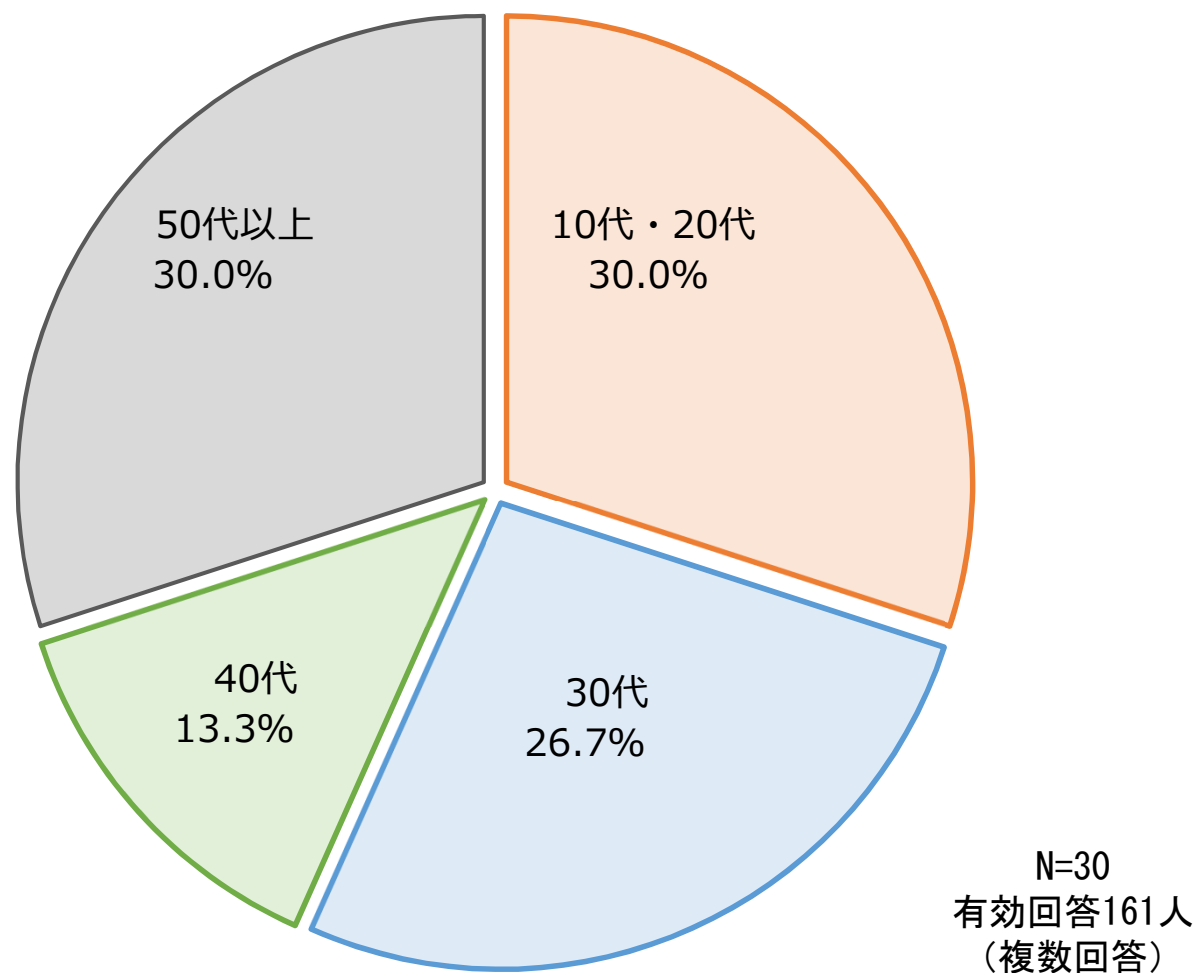
# 転出意向の理由（横須賀市民アンケート(2020)）

資料 6

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

「市外に転居したい」または「一度は市外に出たい」と思う理由のうち『市が衰退しているイメージあるとした回答』（年代別の割合）



資料：横須賀市民アンケート（2020）